



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2007年3月9日
MR/E13/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

国連大学にて開催 アフリカにおけるキャパシティ・ビルディング シンポジウム

内容： 国際シンポジウム～アフリカにおけるキャパシティ・ビルディングと日本の役割～
日時： 2007年3月16日（金）午前9時30分～午後5時15分
場所： UNハウス ウ・タント国際会議場（渋谷区）
主催： 国際連合大学、外務省、早稲田大学国際戦略研究所

- アフリカの開発途上国が、ミレニアム開発目標（例えば、ターゲット1：2015年までに1日1ドル未満で生活する人口比率を半減させる）を達成するには、政府のみならず民間レベルにおいても、制度的（組織的）能力を強化することは緊急課題である。一方で、より恵まれた雇用や生活環境を求め、高度な能力を有する優秀な人材が国外へと移住するという頭脳流出（ブレイン・ドレイン）が生じている。
- 国連大学、外務省、そして早稲田大学が共催する本シンポジウムは、アフリカの現状を分析した上で、頭脳流出（ブレイン・ドレイン）の対応について、国際社会、特に日本がどういった貢献ができるか、革新的なアイデアを議論する場である。
- シンポジウム参加者には、キャパシティ・ビルディングおよび貧困救済についての政策提言の分野の知識や経験が豊富な学者や国連の高官が含まれる。
- 基調講演者は、ナジア・モハメッド・エッサイド、アフリカ連合（AU）人的資源・科学技術委員。アフリカにおけるキャパシティ・ビルディングとアフリカのオーナーシップについて講演予定。
- その他、パネリストは、次のとおり。青木一能 日本大学教授、アニャン・ニヨンゴ 元ケニア計画・国家開発大臣、遠藤貢 東京大学助教授、片岡貞治 早稲田大学国際戦略研究所所長、勝間靖 早稲田大学アジア太平洋センター助教授、勝俣誠 明治学院大学教授、スマナ・サコ ACBF 事務局長、ヌレイニ・ティジャニ・セルポス UNESCO アフリカ担当事務局長補、パトリック・ボンド クワズールナタル大学教授、堀内伸介 国際開発アソシエイツ代表（元駐ケニア大使）
- 本シンポジウムはインターネットのウェブキャストでもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。
<http://c3.unu.edu/unuvideo/?126>
- 当日のプログラムは、下記 URL にてご覧いただけます。
http://www.unu.edu/events/files/2007/CapBuildingInAfrica_20070316_programme.pdf
- 日英同時通訳あり。

取材ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311 e-mail: media@unu.edu）

講演者について

ナジア・モハメッド・エッサイド氏は、2004年にアフリカ連合（AU）人的資源・科学技術委員に着任。それまでの30年間は、公務員、プライベートコンサルタント、また、研究者（アルファタ大学および、リビヤのガリオユニス大学）としての経歴を持つ。リヴァプール大学（英国）で、住宅・都市計画の博士号を取得。